



# SHINKOニュース追跡版

NO.130(2)  
平成27年11月1日  
信光陸運株式会社

「より安全に より迅速に より高い品質の提供」

平成27年度スローガン 変わる環境 変わらぬ基本 ルールを守って信頼獲得

## 感動一杯の自転車旅



この度、当社代表取締役会長であります神田栄作の自転車旅行記が、業界新聞「ブツリュウアイ」の「マイウェイ」の欄に、上記表題「感動一杯の自転車旅」と題し紹介されました。

今回は同記事を当社SHINKOニュース特別版で取り上げたいと思い、以下新聞記事をそのまま記載し紹介させていただきます。

信光陸運(株)(愛知県小牧市)会長の神田栄作さんは今年10月、愛車レクサスで東海道の日本橋から小牧までの390キロ、そして14日からは韓国の釜山からソウルまでの670キロを走破した。レクサスといってもあの高級車でなく、ロードバイクでの走破だ。数年前から健康維持のためのマラソンを始めた神田さんだが、ハードワークが原因で肉離れを起こしてしまう。そこで走ることに比べ負担の少ない自転車への転向を決意。世界限定100台のレクサスブランドのロードバイク「Fスポーツロードバイク」を購入した。今回の壮大な旅を計画をした動機について聞くと「若い頃は何にでも刺激を受けたがこの年になると経験値も上がり感動も少なくなる。新しいチャレンジをしたかった。」と語った。

日本橋ではあらかじめ今回の計画を話していた親しい取引先の社長に出迎えられもてなしを受けた。そして茅ヶ崎から湯河原までを一緒に自転車で走った。

また、一人になってからの苦しい道中では、自社スタッフやその社長の会社スタッフから励ましのメールが届いた。そしていよいよ会社に到着すると、サプライズで祝福の花束が贈呈された。

「あくまでプライベートの旅だったので会社には伝えていなかった。親しい社長がこっそり連絡してくれていたようだ」と、その粋な計らいに感動したという。

昨年、2人の息子に会社の舵取りを任せた神田さん。「今回の旅では達成感もさることながら、『気配り』、『根回し』、『おもてなし』、の心を学んだ。人生まだまだ感動に溢れている」と笑顔で話してくれた。

(平成27年10月28日(水)第47号 ブツリュウアイの記事より)